『水こっちにおいで』　　3歳児　　6月伏見こども園

エピソード

砂場で A 児が「水ジャーする」と言い、タライから水をすくって砂場に入れ始めました。何度もすくっては入れることを繰り返していると、砂場にどんどん水が溜まっていきました。Ⓣ「水がいっぱいになってきたね、こっちまできたよ」と言うと、B 児が、「あっちまでいくかな」と砂場の反対側の角を見ながらつぶやきました。Ⓣ「あっちまでいくかな、やってみよう」と言うと、その声を聞いてそばにいた C、D 児が手に持っていたシャベルで土を掘り始めました。進んでほしい方に土を掘ると道ができて水が流れました。B 児「流れた！」と嬉しそうに言いました。その間も A 児は水をすくっては砂場に入れることを繰り返しています。Ⓣ「A くん、どんどん水入れてね」と言うと笑顔でうなずきました。D 児は「水こっちにおいで！」言いながらシャベルで掘り進めていきました。

子どもの育ちや学び

・砂場にどんどん水を入れることを繰り返し楽しむ。（繰り返す楽しさ）
・水を汲んでは入れることで、砂場の水が増えていくことが楽しい。
（もっと入れよう）

水ジャーする！

もっといっぱい！

あっちまでいくかな？

流れた！

・水が溜まって広がってきたことで、もっと向こうまで流れるかなと思いつぶやいた。
（期待・予想・思いを言葉にする）

水こっちにおいで！

・スコップで土を掘ると水が流れていくことを知った。（できた、面白い）
・土を掘るために近くにあった道具を使った。（道具を使って遊ぶ）
・水の道ができて、水が流れていくことを楽しんでいる。（水が流れていく楽しさ、面白さ）

保育者の思い

・繰り返し水を砂場に入れている A 児の遊びを、保育者も一緒に楽しみたいと思いました。水がたくさん溜まってきたことをより感じられるように、「こっちまできたよ」と声をかけました。また、声を出して知らせることで、近くにいる友達も興味をもつかなと思いました。
・溜まってきた水を見て興味を示し、思ったことを言葉にしている姿を認めたいと思いました。B 児のつぶやきが近くにいる友達にも伝わったらいいなと思い、B 児の言葉を周りにも聞こえるように言いました。
・水を流すために、道具を使っている様子を見守りたいと思いました。まだ、うまく使いこなせず、ぎこちない掘り方でしたが自分なりに一生懸命手を動かしている姿に3歳児さんらしさを感じました。また、A 児が水を繰り返し入れていることで、水がどんどん溜まってきていることを感じてくれたらいいなと思い声をかけました。

お家の方へ

子どもの“楽しい”と感じるポイントは様々ですね。それぞれが楽しいと感じていることに寄り添っていきたいですね。